

特集

地域の中核へ、公立大学の模索 地元が求める人材の育成・還元が使命

10

2	富山和彦の直言
4	ニュース & インサイド
7	霞が関 底流伏流（内閣府） トランプ効果で基地減少 沖縄振興予算縮小か？
8	地方創生の旗手 ふくしま学びのネットワーク事務局長 前川 直哉氏
24	グローカルインタビュー 長野県軽井沢町長 藤巻 進氏
27	帰ってきた行革110番 盛土をアピールし続けた東京都
28	FOCUS 国境離島新法で離島の環境整備
32	REPORT 陸前高田市議会の被災文書復旧
34	REPORT ふるさと納税「2016年アワード」
36	新・奮闘地方議員 静岡県吉田町議会議員 藤田 和寿氏
38	自治体経営を考える 旧満州の開拓団に悲惨な歴史
40	人口減社会を地域はどう生き抜くか 移住策は「数」ではなく「質」目指せ
42	課題解決型組織のつくり方 「腹落ち」こそ行動力の源泉

44	自治体防災の最前線 首長のリーダーシップが成否を決める
46	自治体-NPO 新連携ガイダンス 外国人被災者支援（熊本市）
48	道の駅は創生拠点たり得るか 地域観光のコーディネート役に
50	10月のセミナー報告 地方創生時代の首長と議会
54	Interview首長 佐賀県江北町長 山田 恭輔氏
55	ニュース・ウォッチング
60	Book Review/バックステージ



〈表紙の写真〉公立大学として再出発して5年の公立鳥取環境大学

公立鳥取環境大学には正門がない。鳥取駅からのバスを降りると、そこはもうキャンパス。緑に囲まれた敷地内に、開設したばかりの実験研究棟や講義棟、図書館などが連な

り、環境問題を考えるためにヤギを飼育する放牧スペースもある。

訪問した水曜日の午後は、大教室で1年生向け必修科目の「鳥取学」が講義されていた。人と社会と自然

との共生をテーマに、教員6人が分担。講義内容は鳥取県の地形・地質、気象、海況から動植物、歴史、文化まで多岐にわたる。

（文・写真＝可部 繁三郎）